

民有林治山木材使用工事コンクールについて

喬木村で施工した復旧治山事業が第 25 回民有林治山木材使用工事コンクールにおいて林野庁長官賞を受賞しました。

1 コンクールの概要

- ・趣旨 民有林治山工事において、施工技術の一層の向上と木材使用の促進を図ることを目的として、全国の治山林道協会等から推薦のあった工事を対象に平成 12 年度からコンクールを実施
- ・主催 (一社) 日本治山治水協会・日本林道協会
- ・受賞 林野庁長官賞 (部門で最高賞)
令和 6 年 11 月 20 日 (水) に開催された表彰式 (第 25 回民有林治山木材使用工事コンクール) で南信州地域振興局林務課が受賞

2 受賞工事の概要

- ・工事名 令和 4 年度復旧治山事業第 20 号工事
- ・箇所名 下伊那郡喬木村伊久間^{いくま}
- ・工種名 山腹工 0.14ha、土留工 (木製校倉式)^{もくせいあぜくらしき} L=17.5m、筋工 (丸太) 153m ほか
木材使用量 : 11.7m³
- ・請負額 40,865 千円
- ・工期 令和 5 年 4 月 3 日から令和 5 年 11 月 30 日まで
- ・その他 当施工地は、令和 2 年 7 月豪雨災害で山腹崩壊が発生し下流に土砂が流出した箇所であり、令和 3 年度から治山事業により復旧工事を進めてきた。山腹内には不安定土砂が堆積しており、山腹の土砂の移動抑止、山腹勾配の緩和を目的とし、木製の土留工を採用することで、山腹の安定を図るとともに、周辺環境や景観を保全しつつ県産材の積極的な活用を図ることができた。